

2014年度第4回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2014年10月14日（火） 午後6時30分から
- 2 場 所：八王子市生涯学習センタークリエイトホール 和室やまゆり（9階）
（八王子市東町5番6号）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：6名
出席者：座間直壯、平山恵三、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡
欠席者：清田義昭、矢崎省三

4 報告及び協議事項

（1）第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2014年10月1日現在
正会員100名 3団体 賛助会員43名 1団体 計147名・団体（前回から変化なし）

（2）第2号議案 町田市立図書館除籍図書のリ親事業の予定について【報告】

- ・5月に町田市立図書館より依頼された重複調査（1,705件）の結果は、町田市のみ所蔵64件、他1自治体所蔵70件であった。7月に町田市に結果を返した。同時に多摩地域に2冊以上あり、残すことにならない資料のリ親探しを申し入れた。町田市からは、協力するが、見直して町田市で残したい資料があるのでまず館内調整したいとの回答があった。
- ・その後の町田市の進行状況は、9月中旬に「リ親事業可能資料を仕分けして別置き、データ作成と起案手続き中」とのこと。全国図書館大会後にリ親募集を始めるくらいのタイミングで進められればよいと考えている。
- ・リ親事業に関して、他に新たな申し込み等は、今のところなし。

（3）第3号議案 多摩デポブックレット第10号の発行について【報告】

- ・多摩デポブックレット第10号は、2014年度通常総会の記念講演の内容を中心に、元日本図書館協会事務局長の松岡要氏に書きおろしてもらった。
- ・図書館が利用者から求められる資料を提供するためには、必ず図書館同士の連携を必要とする。多摩デポの提起したことは重要である。図書館法には基本理念は書いてある。ところがその理念を実現するための法制度は大変不十分なままで、むしろ弱くなっている。戦後の図書館に関する制度上の課題を掘り下げ、批判し、共同保存に繋がる図書館の協力連携を今後どうやって伸ばしていったらいいのか、新たな連携の仕組み作りも提言された内容となっている。
- ・原稿は既に届き目次と構成はほぼ確定、付録に付ける図表の選択もほぼ出来ている。大変ボリュームある内容を規定ページに収めるための最後の見直しを、著者と行なっているところである。
- ・近日、けやき出版に持ち込めるが、出版社による編集・レイアウトの手を経て、発行は11月末頃には出来るかと予想している。
 - 図書館大会分科会用に目次を載せたチラシを作成する。（カラー、裏面FAX予約用紙）
 - 発送は「通信」図書館大会報告臨時号とセットで、発行があまり遅くならないうちに送る。

(4) 第4号議案 第21回多摩デポ講座について【報告・協議】

- ・第20回講座の企画の継続もあるのだが、一回、見学会をはさみたい。
- ・事務局より「大宅壮一文庫」の見学会を提案。評論家大宅壮一氏の死亡の翌年1971年に開館以降、一般の図書館では不得意な通俗的な雑誌の大量の収集・整理・保管と、特に独自の索引作りを続けている。長年、狭い施設で累積する資料にデータ整理や保存にどのような工夫をしているか、本館と埼玉県越生にある分館との関係がどうなっているかなど、見学と共に聞きたい。
- ・施設は京王線八幡山駅の近くにあり、一般対象の無料見学会を実施している毎月第2土曜日以外の日にする必要がある。説明のための集会室はないので書庫内での説明となり、人数制限がある。
- ・事前申込を取り、八幡山駅集合で、日程は、12月第1土曜か、第3土曜に行なってはどうか。
 - 物理的にどう保存しているかだけでなく、共同保存とどうかかわるのが大事なのでは。
 - 保存のポリシーとそれを裏付ける現実の工夫は多摩デポにとっても参考になる。
 - 提案通り、大宅壮一文庫の見学会を行う。12月6日(土)をこちらの第一希望として、先方と調整する。

(5) 第5号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

I. この間、事務局と(株)カーリルで討議してきたことを報告。

9月25日午後3時～6時にシビル(立川)にて第一回打ち合わせ。

(1) 確認事項

- ① 協定書(案)については、別添の多摩デポ提案をカーリル了承。多摩デポ理事会への報告後、日を改めて協定書を締結し、交換する。
- ② 今後の打ち合わせは、原則として月に一度のペースで行う。共同研究により今年度中に一定の成果物を作り上げる。その上で、館長会等への発表を行う。

(2) 協議事項

- ① 多摩地域で最後の2冊になっている資料のDB化について
 - ・多摩地域の図書館からデータの提供を受けずに標記のDBを作る方策についてカーリルの吉本氏から提案を受ける。
 - ア NDL(国立国会図書館)のISBN付の書誌データを抽出し、そのデータを多摩地域の図書館の蔵書データベースと突合し、その結果のDBを作成する。
 - イ NDLから全件のデータを抽出するには相当の時間を要するが、ISBN付のデータを年単位で抽出し、その突合を繰り返し、積み上げることでDBを作り上げていく。
 - ウ 次回の打ち合わせまでにサンプルとして下記の年のNDLデータを抽出し、それを多摩地域の図書館の蔵書データと突合し、その結果(各タイトルの所蔵冊数一覧)を持参する。どのような傾向になるかを検討したい。

NDLデータの抽出年：1990年、1995年、2000年の三年分

- エ このDBが出来上がれば、DBに各図書館の方で、随時、除籍候補にする資料のExcelデータを突合すれば、多摩地域で最後の2冊のチェックができる。またDBの内容を公表することで、さまざまな形(その図書館の業務の流れに合った用途)に活用できる。
- ② ユニークキーの無い資料のデータ検索方法(データ統合含む)について
今年度はISBN付データの処理を優先させ、そこで成果物を作る。ユニークキーの無い資料の処理は今後の課題とする。
- ③ 次回の打ち合わせ日程：10月29日(水)午後6時より国分寺労政会館(第二和室)で行う予定。

II. 理事会の質疑、確認、今後の進め方

- ・協定案については理事長・副理事長確認済。29日第2回打ち合わせ会議に理事長出席、協定書を取り交わす。
- ・成果をどう活用するかのすじ道ははっきりとは出せない段階であるが、各図書館の除籍のやり方に合わせた活用が出来るように考えたい。館長協議会が進めているPTの検討が具体的なものになり支持を得るためには、具体的なデータで館長協議会が共同保存の「量」のイメージを共有することが大切ではないか。

(6) 第6号議案 全国図書館大会公募型分科会の取り組みについて【報告・協議】

- ・企画が通った公募型分科会（11月1日）、「図書館再生——県立図書館を中心とした共同保存の可能性」の準備状況について報告。

○PR関係

- ・9月21日に分科会チラシを印刷し、全国の県立図書館、多摩地域の市町村図書館、近県の県庁所在地市立図書館への発送を行なった。平山副理事長は山梨県下の幾つかの図書館等を訪問し、手渡しで案内、配布した。
- ・都立中央図書館へは10月3日に座間理事長と堀理事が訪問し、企画経営課長不在のため担当係長藤島氏に趣旨説明し、参加への検討と職員への回覧をお願いしてきた。あわせて、移転開館する都立多摩図書館の保存機能に関する、図書館連携への関心を伝えてきた。
- ・個人向けの案内文を作り、呼びかけ人および会員の学者等から選んで、10月5日に発送した。他に送った方がいい（会員外の）学者、知り合い、組織などの追加を検討したい。
- ・会員及び呼びかけ人全員には、まもなく「多摩デポ通信」発送時に分科会チラシを同封の予定。
- ・参加申し込みは10月3日時点で21人。発表者と運営委員を除くと7~8名と思われる。申込期限が延長され、「図書館雑誌」10月号に分科会案内が同封されることになったので、参加者の増加を期待したい。

→「多摩デポ通信」には、当日参加も大丈夫であることを書いた方がいい。

- ・大会HPの分科会紹介の内容は、より具体的な文章を送り、差し替えてもらった。

○当日運営の準備関係

- ・掲示用パネルの貸出しは不可。演壇のマイク以外の貸出しは、参加人数の関係で不可となり自前の調達を求められている。パネルディスカッション用の椅子の貸出6脚は大丈夫とのこと。
- ・前日（10月31日）午後4時から、運営委員で会場準備とブックレットの搬入等を行う。
- ・まだ実行委員会から通知は来ないが、記録速報11月20日、公式記録は11月末提出締め切り、で提出を求められるもよう。

○講演者、報告者に関して

- ・到着時間、控室、パワーポイント、配布物の事など、連絡を取る。

○分科会実施後を見据えて

- ・このテーマで初めて開かれる集会であり、実施している（及び関心のある）図書館関係者が揃うせっかくのイベントなので、成果の共有、事後への有効な継続を考えていきたい。

→ 今後につなげていくことが重要だが、まずはあまり遅くならないうちに「通信」臨時号で報告を出す。

- ・全都道府県の事業年報、要覧を参照し、各県の県内市町村図書館との連携状況を調べている。

(7) 第7号議案 多摩デポ通信第32号の発行について【報告・協議】

- ・ 発送時には、図書館大会の分科会案内チラシを同封して、多摩デポの全会員、呼びかけ人等に送る。多摩デポ通信の紙面にも、図書館大会の紹介を入れていく。
- ・ こうしたタイミングとして間に合う発行日を考えたい。10月18日（土）発行、発送予定。

★32号紙面予定

- ・ 第20回多摩デポ講座実施報告・感想
- ・ 新都立多摩図書館工事着工、設計内容、スケジュール、課題等報告
- ・ 全国図書館大会分科会企画紹介、参加呼びかけ記事（案内チラシ同封）
- ・ 松岡要氏ブックレット（第10号）近く発行の情報
- ・ 第21回多摩デポ講座案内
- ・ 異動先で見知った、今の高校生たちの頼もしい「図書館利用事情」（投稿）
- ・ 全都道府県の年報、要覧から、各県の県内市町村図書館との連携状況を調べた（さわり）
- ・ メーリングリスト、HPなどの関連記事

(8) 情報交換

- ・ 図書館総合展
白百合女子大学図書館がブース出展。セミナー会場の使用に空き時間あり、多摩デポのプレゼンテーション及びブックレット販売が可能になるだろう。
- ・ 事務所の契約更新について
今後、適当な物件があれば検討することにして、当面現在の契約は継続する。
- ・ 埼玉県立浦和図書館の廃館（2015年3月末とのこと）に向けた利用者説明会開催予定。
- ・ 座間理事長、8/2開催の「日本図書館協会九州地区図書館の集い」にて映画「疎開した40万冊の図書」の上映およびシンポジウムにパネリストとして参加。
「公共図書館での資料保存」～災害を乗り越え、利用のための保存をめざす～と題して発表。

- ★ 次回の理事会 12月23日（火）午後4時～6時（終了後忘年会予定）
- ☆ 次回の事務局会議 11月14日（金）または15日（土）で調整する

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、手嶋孝典理事と平山恵三理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2014年10月14日

議長

議事録署名人

議事録署名人